

# 兵庫県下の経済動向

令和元年5月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

## 目 次

概 況	．．．．．	1
生 産	．．．．．	2
個 人 消 費	．．．．．	4
設 備 投 資	．．．．．	6
住 宅 投 資	．．．．．	8
公 共 工 事	．．．．．	9
貿 易	．．．．．	10
物 価	．．．．．	11
雇 用	．．．．．	13
信 用 保 証	．．．．．	15
金 融	．．．．．	16
倒 産	．．．．．	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに拡大している。  
輸出は増加基調にあり、個人消費は緩やかに持ち直している。  
また、設備投資は高水準で推移し、住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が前年を下回った。  
家電販売は、前年を上回った。  
乗用車新車登録台数は、前年を下回った。  
設備投資は、高水準で推移している。  
住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。  
公共工事請負金額は、前年を下回った。  
輸出は、中国を中心に減少し、前年を下回った。輸入についても、前年を下回った。  
生産活動は、2月の鉱工業生産指数で見ると、前年を下回った。  
雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を下回った。  
また、2月の所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回り、一人当たり名目賃金は前年を上回った。  
金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。  
企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を上回った。  
(特に断りのない限り計数は3月分)

### 兵庫C I 及び兵庫D I から見た県内の景気動向

2月の兵庫C Iは、先行指数106.2、一致指数97.0、遅行指数94.8となった。  
2月の兵庫D Iは、先行指数28.6%、一致指数25.0%、遅行指数50.0%となった。  
兵庫C Iは、先行指数、一致指数および遅行指数が4か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「兵庫C I一致指数は、横ばい局面を示している。」としている。

\*兵庫D Iと兵庫C I・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫D I)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫C I)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は102.5、前月比2.5%減で2か月ぶりに低下、出荷指数は103.7、同1.4%減で2か月ぶりに低下、在庫指数は108.4、同1.0%減で2か月ぶりに低下した。

原指数は、生産は前年同月比7.2%減で2か月連続低下、出荷は同7.8%減で2か月連続低下、在庫は同0.3%増で2か月連続上昇した。

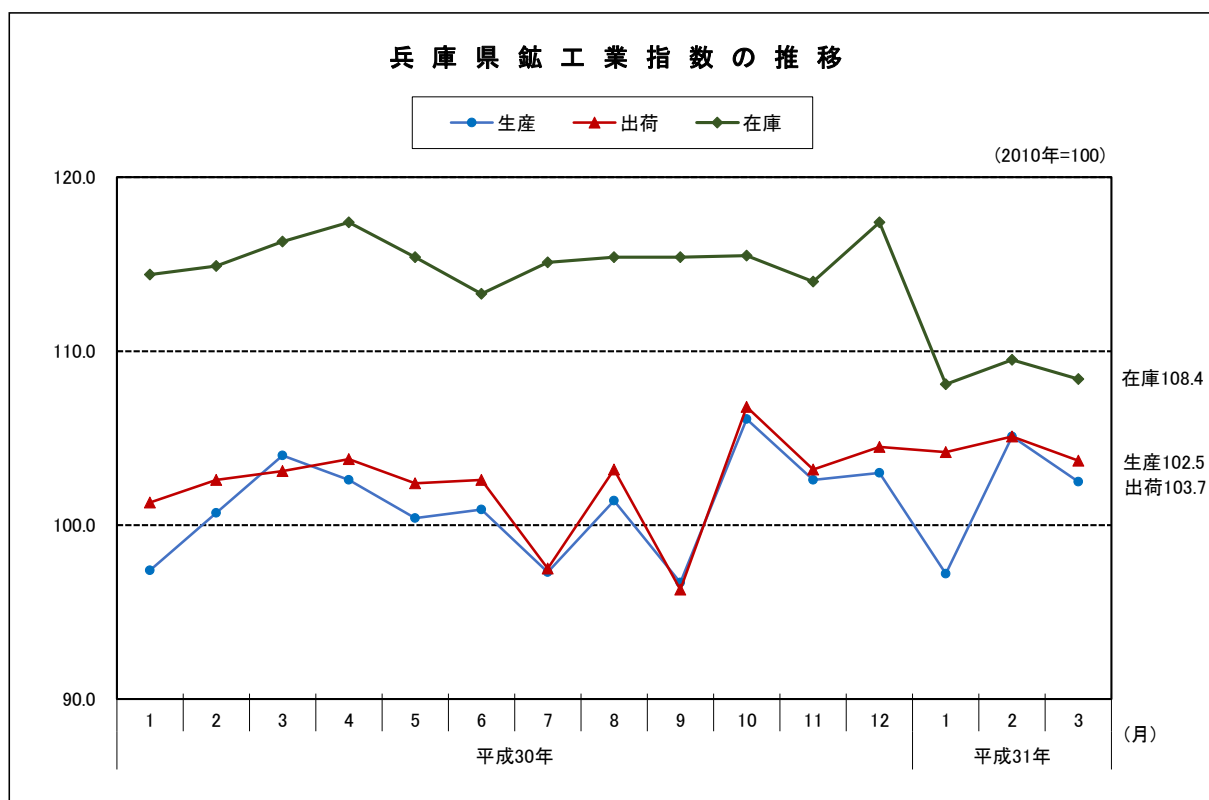
主要業種の生産動向を対前月比でみると、「鉄鋼・非鉄金属工業」(特殊鋼熱間圧延鋼材等)が2.5%、「生産用機械工業」(建設用クレーン等)が2.5%、「輸送機械工業」(特装ボデー等)が1.4%、「窯業・土石製品工業」(ガラス製容器等)が1.5%、「化学工業」(医薬品等)が1.6%各々増加し、「金属製品工業」(ガス湯沸器等)が3.3%、「汎用・業務用機械工業」(蒸気タービン部品等)が15.6%、「電気・情報通信機械工業」(一般用タービン発電機等)が3.7%、「食料品工業」(ビール等)が5.1%各々減少した。

県統計課は、基調判断を「やや弱い動きがみられる。」とした。

3月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整済 指数	対前月比	原 指 数	対前年同月
		増減 (%)		比増減 (%)
生 産	102.5	▲ 2.5	119.2	▲ 7.2
出 荷	103.7	▲ 1.4	121.1	▲ 7.8
在 庫	108.4	▲ 1.0	103.7	0.3
在 庫 率	118.2	▲ 0.8	99.6	7.6

資料：兵庫県企画県民部統計課



### 3月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業種	指数	対前月比増減(%)	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄鋼・非鉄金属工業	94.4	2.5	上昇	特殊鋼熱間圧延鋼材、亜鉛めっき鋼版、普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材
			低下	ブリキ・ティンフリースチール、普通鋼鋼管、銑鉄铸件、普通鋼鋼板
金属製品工業	94.5	▲ 3.3	上昇	石油温水給湯暖房機、プレハブ建築用軽量鉄骨系パネル、鋼管製管継手、スチール・ステンレスドア
			低下	ガス湯沸器、PC鋼より線、ガス温水給湯暖房機・風呂がま、ワイヤロープ
生産用機械工業	103.7	2.5	上昇	建設用クレーン、混合機・かくはん機・粉砕機、ショベル系掘削機械、プレイバックロボット
			低下	熱交換器、その他の超硬工具、コンクリート機械、金属工作専用機
汎用・業務用機械工業	109.1	▲15.6	上昇	ボイラ部品、油圧機器、歯車、自動調整弁
			低下	蒸気タービン部品、汎用内燃機関、エスカレータ、固定比減速機
電気・情報通信機械工業	90.8	▲ 3.7	上昇	海上・航空移動通信装置、非標準油入り変圧器(1万kVA以上)、テレメータ・テレコントロール、開閉制御装置
			低下	一般用タービン発電機、ノート型パソコン、無線位置測定装置、電力変換装置
輸送機械工業	134.3	1.4	上昇	特装ボデー、二輪自動車(125ml超)、特殊自動車、二輪自動車部品
			低下	航空機用発動機部品、航空機用機体部品、旅客車、機関部品
窯業・土石製品工業	97.2	1.5	上昇	ガラス製容器類、ファインセラミックス(構造材)、研削砥石、複層ガラス
			低下	無アルカリガラス基板、耐火れんが、不定形耐火物、ほうろう鉄器製品
化学工業	130.0	1.6	上昇	医薬品、メタクリル酸エステルモノマー、界面活性剤、印刷インキ
			低下	自動車排気ガス浄化用触媒、酢酸、酸化チタン、水系合成樹脂塗料
食料品工業	89.1	▲ 5.1	上昇	精米、清酒、糖類、塩
			低下	ビール、麺類、チーズ、パン

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

日本百貨店協会がまとめた3月の神戸地区の百貨店売上高は、前年同月比5.4%減の122億34百万円と、5か月連続で前年実績を下回った。前年に好調だった衣料品が苦戦したことなどが響いた。

「婦人服・洋品」と「子供服・洋品」も2.7%減だった。同協会の担当者は「前年から反動減に加え、月後半の寒さで春物が動かなかつたとみられる」と解説する。

富裕層消費は好調を維持し、美術・宝飾・貴金属は2.7%増。ただ、海外高級ブランドのかばんや靴を含む「身のまわり品」は2.0%のマイナスだった。化粧品は大丸神戸店が売り場1階を改装している影響などで1.6%減。

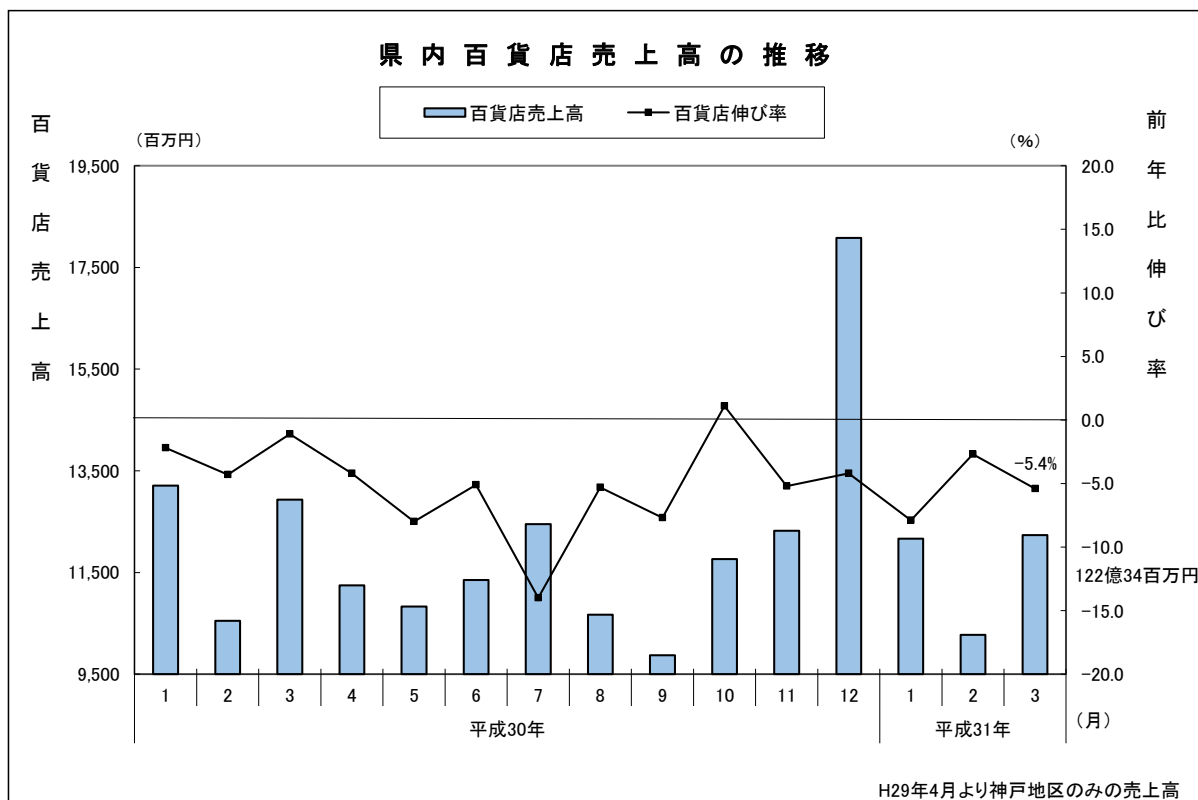
ホワイトデー商戦や、物産展などの催事がにぎわい、菓子は1.8%増と堅調だった。

### 3月の神戸地区の百貨店売上高

品目	売上高	前年同月比
紳士服・洋品	654	▲ 2.7
婦人服・洋品	3,579	▲ 12.1
子供服・洋品	376	▲ 14.7
その他衣料品	197	1.6
身のまわり品	996	▲ 2.0
雑貨	2,184	▲ 1.2
家庭用品	411	▲ 8.2
食料品	3,409	▲ 1.7
食堂・喫茶	257	▲ 6.3
サービス	55	▲ 5.8
その他	111	46.3
計	12,234	▲ 5.4

※ 単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

資料：日本百貨店協会



## 【個人消費】『新車登録』

県内4月の乗用車新車登録台数は12,980台、前年同月比5.2%増と2か月ぶりに前年同月の実績を上回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,745台（前年同月比6.4%増）、小型乗用車は3,197台（同4.2%減）、軽乗用車は5,038台（同11.0%増）、乗用車合計で12,980台（同5.2%増）となった。

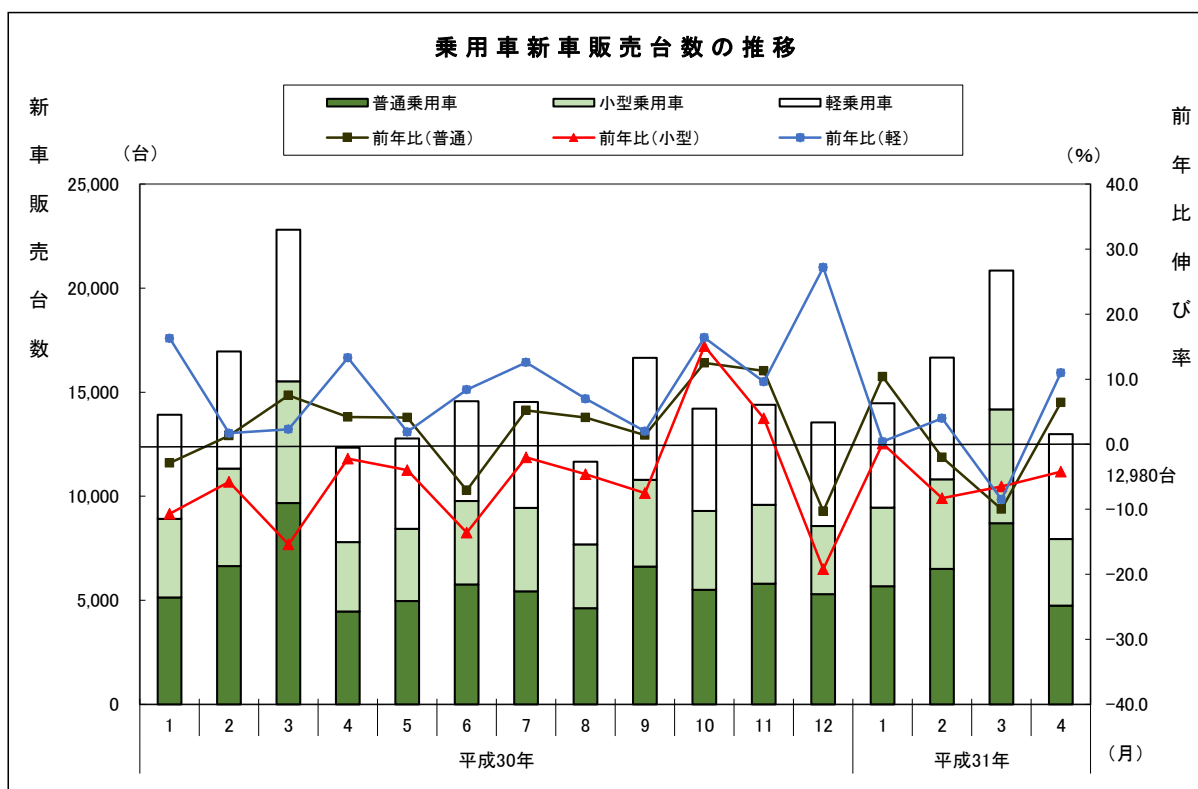
また貨物車等では、普通貨物車は374台（前年同月比5.9%増）、小型貨物車は733台（同14.4%増）、軽貨物車は1,173台（同17.5%増）、バスは32台（同45.5%増）となった。

### 4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,745	6.4	107,180	10.9
小型乗用車	3,197	▲ 4.2	92,407	▲ 4.7
軽乗用車	5,038	11.0	115,352	3.5
<b>乗用車合計</b>	<b>12,980</b>	<b>5.2</b>	<b>314,939</b>	<b>3.3</b>
普通貨物車	374	5.9	11,876	4.5
小型貨物車	733	14.4	18,505	▲ 4.6
軽貨物車	1,173	17.5	32,369	10.4
<b>貨物車合計</b>	<b>2,280</b>	<b>14.5</b>	<b>62,750</b>	<b>4.4</b>
バス	32	45.5	986	▲ 4.7
<b>登録車総計</b>	<b>15,292</b>	<b>6.6</b>	<b>378,675</b>	<b>3.4</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が5月22日に発表した機械受注統計によると、平成31年3月実績は以下のとおり。

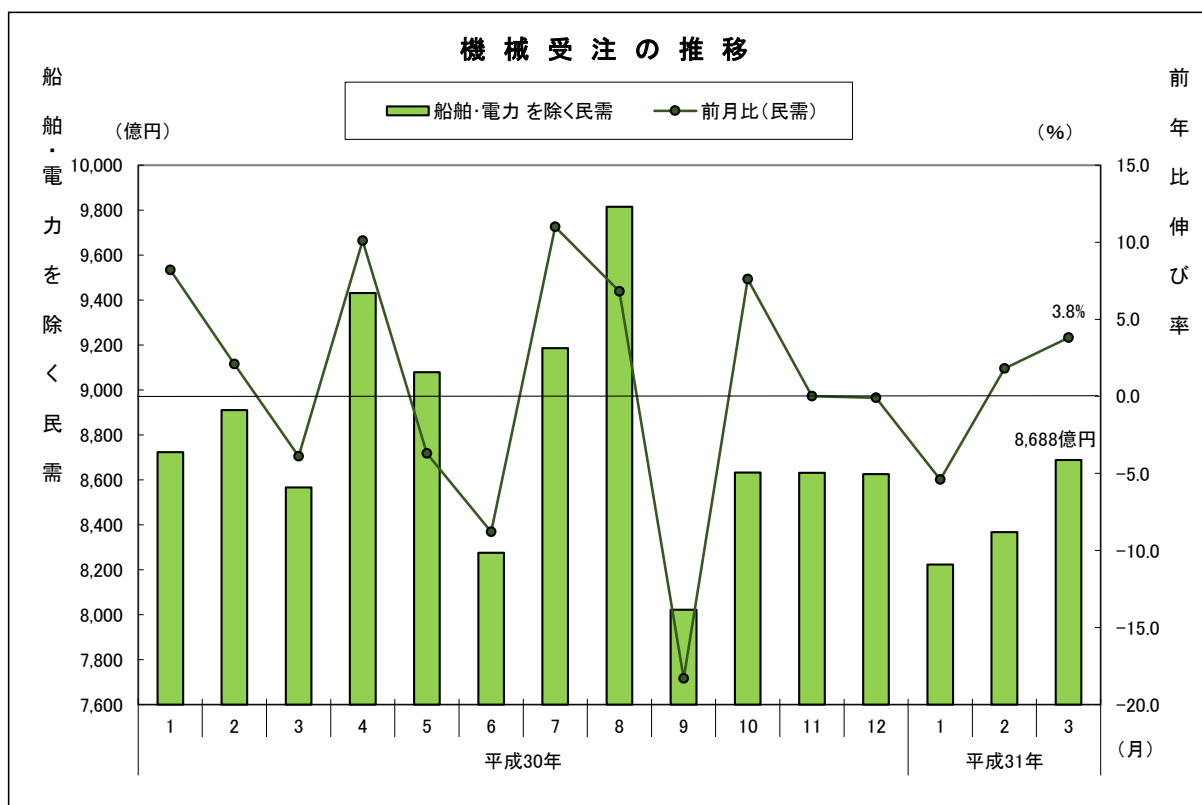
最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、平成31年2月前月比5.4%増の後、3月は同4.3%減の2兆2,542億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比1.8%増の後、3月は同3.8%増の8,688億円となった。

内訳をみると、製造業は同11.4%減の3,440億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同13.4%増の5,117億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは17業種中、食品製造業(8.3%増)、繊維工業(7.5%増)、パルプ・紙・紙加工品(37.1%増)、化学工業(23.1%増)、窯業・土石製品(62.2%増)、鉄鋼業(37.7%増)、非鉄金属(13.6%増)、電気機械(19.7%増)、情報通信機械(37.1%増)、「その他製造業」(5.0%増)等の10業種で、石油製品・石炭製品(2.9%減)、金属製品(1.2%減)、はん用・生産用機械(7.6%減)、業務用機械(7.7%減)、自動車・同付属品(6.2%減)、造船業(89.2%減)、その他輸送用機械(38.4%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、農林漁業(12.5%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(14.7%増)、建設業(40.0%増)、運輸業・郵便業(15.2%増)、金融業・保険業(0.9%増)、不動産業(0.0%)、情報サービス業(7.7%増)、リース業(21.7%増)等の8業種で、電力業(6.0%減)、通信業(22.9%減)、卸売業・小売業(4.8%減)、「その他非製造業」(1.7%減)等の4業種は減少となった。





## 機 械 受 注 統 計 ( 平 成 31 年 3 月 分 )

	2018年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	2019年 1～3月 実績	4～6月 見通し	2018年 12月 実績	2019年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	73,307 ( 1.8) [ 6.3]	74,534 ( 1.7) [ 2.6]	76,364 ( 2.5) [ 4.1]	68,442 (-10.4) [-3.7]	75,936 ( 10.9) [ 1.3]	24,259 ( -6.1) [-1.6]	22,342 ( -7.9) [-9.1]	23,558 ( 5.4) [-3.1]	22,542 ( -4.3) [-1.0]
民 需	32,122 ( 7.3) [ 9.2]	32,515 ( 1.2) [ 5.7]	30,669 ( -5.7) [-2.0]	30,378 ( -0.9) [ 2.5]	33,312 ( 9.7) [ 2.5]	10,318 ( 6.8) [-3.0]	10,322 ( 0.0) [ 4.0]	10,208 ( -1.1) [-4.0]	9,847 ( -3.5) [ 5.6]
” (Ex 船・電)	26,583 ( 1.6) [ 8.0]	26,981 ( 1.5) [ 4.8]	26,126 ( -3.2) [ 2.0]	25,278 ( -3.2) [-2.5]	29,236 ( 15.7) [ 5.0]	8,692 ( -0.3) [ 0.9]	8,223 ( -5.4) [-2.9]	8,367 ( 1.8) [-5.5]	8,688 ( 3.8) [-0.7]
製造業	12,635 ( 4.7) [ 17.8]	12,507 ( -1.0) [ 8.5]	11,999 ( -4.1) [-0.6]	11,070 ( -7.7) [-8.0]	12,365 ( 11.7) [-6.6]	3,821 ( -4.4) [-5.3]	3,750 ( -1.9) [-7.5]	3,881 ( 3.5) [-9.1]	3,440 (-11.4) [-7.6]
非製造業 (Ex 船・電)	14,028 ( 0.4) [ 0.3]	14,498 ( 3.4) [ 2.0]	14,219 ( -1.9) [ 4.5]	14,175 ( -0.3) [ 1.8]	16,838 ( 18.8) [ 15.9]	4,943 ( 5.6) [ 6.5]	4,549 ( -8.0) [ 1.0]	4,510 ( -0.8) [-2.0]	5,117 ( 13.4) [ 4.1]
官 公 需	7,589 ( 4.4) [ 1.1]	8,945 ( 17.9) [ 19.5]	8,382 ( -6.3) [ 9.3]	6,364 (-24.1) [-24.0]	9,450 ( 48.5) [ 24.6]	2,331 (-11.3) [-12.2]	2,394 ( 2.7) [ 6.2]	2,446 ( 2.2) [-3.7]	1,523 (-37.7) [-38.1]
外 需	29,974 ( -1.0) [ 5.4]	29,828 ( -0.5) [-4.3]	32,920 ( 10.4) [ 8.5]	28,860 (-12.3) [-4.2]	29,192 ( 1.1) [-4.7]	10,103 (-18.1) [ 1.7]	8,277 (-18.1) [-22.7]	9,850 ( 19.0) [-1.9]	10,734 ( 9.0) [ 8.6]
代 理 店	3,783 ( 2.9) [ 0.0]	3,762 ( -0.6) [ 1.8]	3,926 ( 4.4) [ 7.9]	3,700 ( -5.7) [-0.3]	3,839 ( 3.8) [ 2.5]	1,295 ( 0.3) [ 6.8]	1,279 ( -1.3) [ 6.5]	1,166 ( -8.8) [-2.4]	1,255 ( 7.6) [-3.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工総数は2,667戸(前年同月比3.0%減)となり前年を下回り、前月比は262戸の減少となった。

また、利用関係別では「持家」が758戸(前年同月比2.2%増)、「貸家」が1,053戸(同6.5%増)、「分譲住宅」が824戸(同19.0%減)となった。

### 3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	758	2.2	22,404	8.9
・分譲住宅	824	▲19.0	25,301	33.0
貸家系・貸家	1,053	6.5	28,413	▲4.5
・給与住宅	32	1500.0	440	62.4
<b>総数</b>	<b>2,667</b>	<b>▲3.0</b>	<b>76,558</b>	<b>10.0</b>

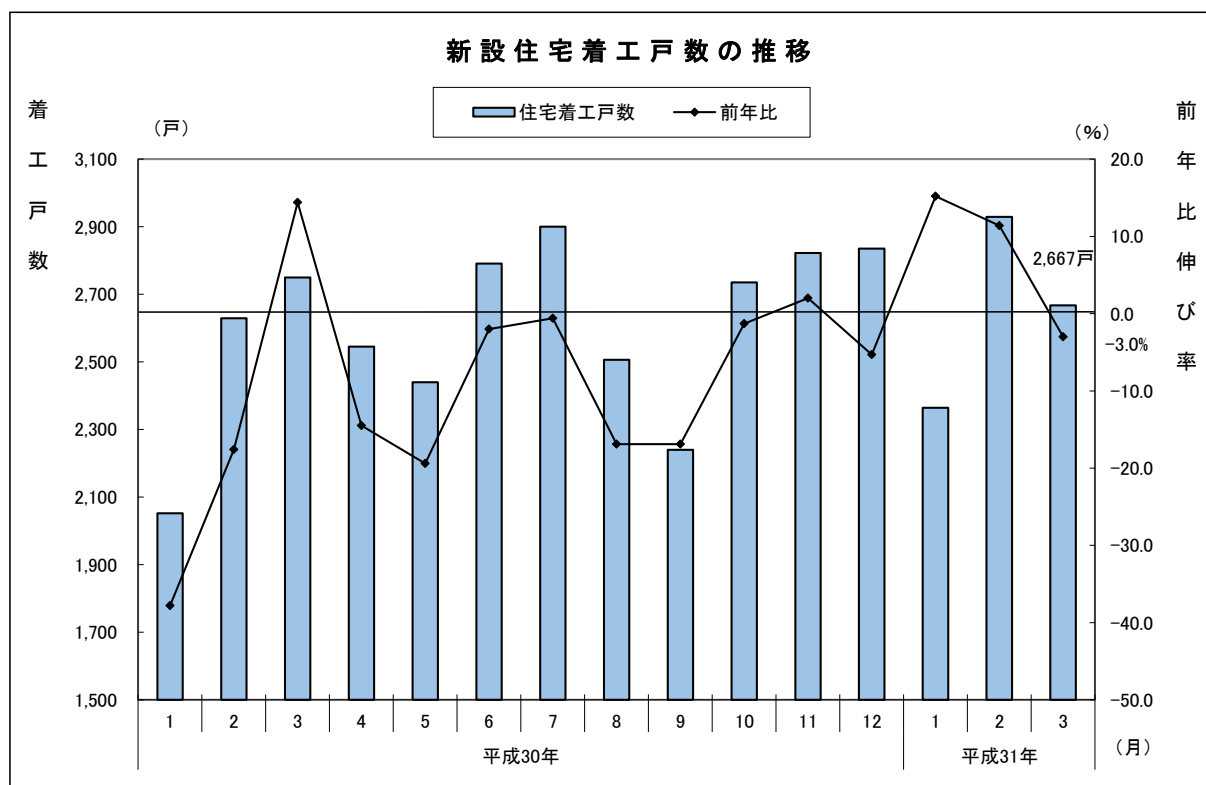
資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

### 3月の地域別着工戸数

(単位：戸、%)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	893	470	388	348	73	305	81	78	19	12	2,667
前月比	98.9	▲33.3	63.7	▲57.0	▲43.8	▲14.3	▲33.1	122.9	▲66.1	▲60.0	▲8.9

資料：兵庫県住宅政策課



## 【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は413件で前年同月比9.8%の増加、請負金額は542億87百万円で前年同月比29.9%の増加となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」前年同月比2.9%、「兵庫県」同25.8%、「神戸市」同31.6%減少したが、「神戸市を除く市町」同197.9%、「その他の公共的団体」同163.9%、「独立行政法人等」同68.3%増加したため、前年同月比29.9%の増加となった。

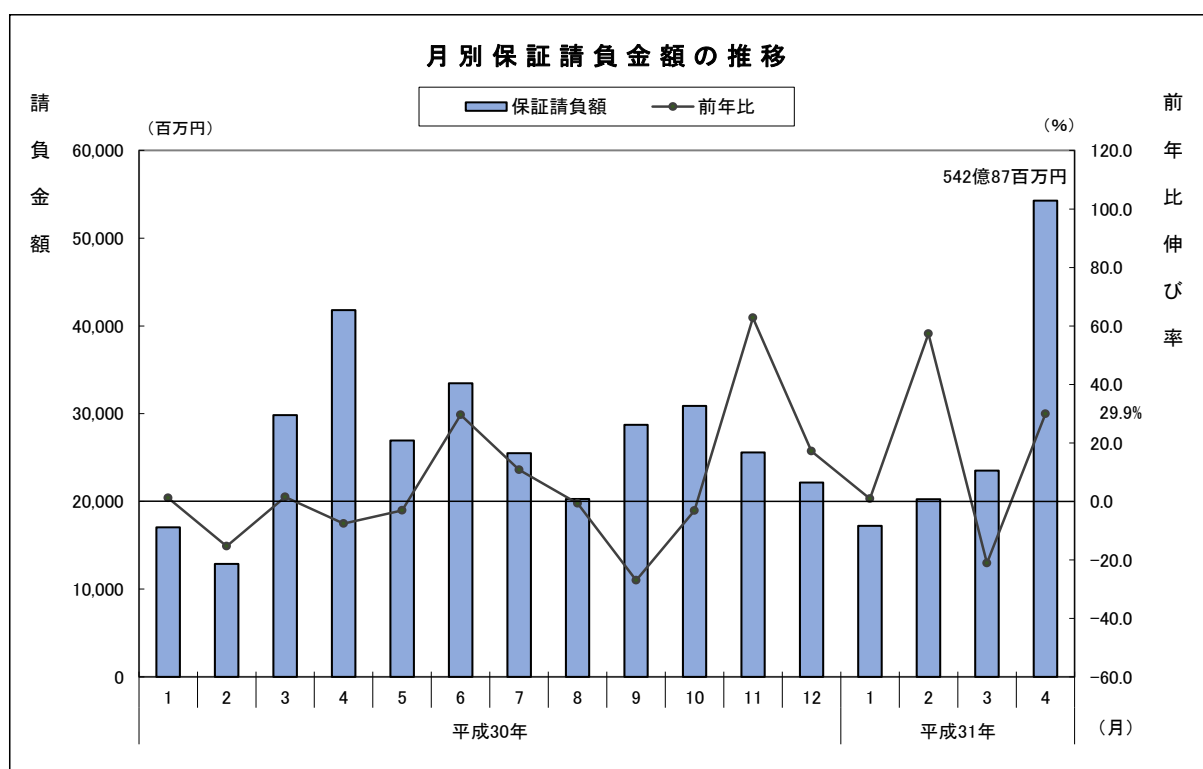
地域別(金額ベース)では、神戸市(前年同月比9.4%減)、淡路(同31.7%減)、阪神北(同36.6%減)、丹波(同86.8%減)が減少したが、西播磨(同233.0%増)、中播磨(同205.8%増)、東播磨(同183.7%増)、北播磨(同180.7%増)、阪神南(同64.9%増)、但馬(同46.4%増)が増加したため、前年同月比29.9%の増加となった。

### 4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	24(▲14.3)	3,333(▲2.9)	神戸港六甲アイランド地区岸壁(-16m)等耐震改良工事
独立行政法人等	14(▲6.7)	6,141( 68.3)	福崎高速道路事務所管内(特定更新等)舗装補修工事(平成30年度) 他6件
兵庫県	202(▲2.4)	12,483(▲25.8)	営知第38号兵庫県立大学新教育研究棟(仮称)建築工事 他2件
神戸市	56( 60.0)	6,080(▲31.6)	30A3-061(仮称)重池住宅9号棟建設工事 他3件
神戸市を除く市町	100( 29.9)	21,484( 197.9)	姫路市立小中学校他空調設備導入事業【GHP方式】 他9件
その他の団体	17( 21.4)	4,764( 163.9)	出石精和園成人寮建替工事 他3件
<b>合計</b>	<b>413( 9.8)</b>	<b>54,287( 29.9)</b>	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成31年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,728億円、前年同月比3.1%の増加で、総額ベースで2か月ぶりに増加となった。輸出は無機化合物などが増加したものの、原動機、自動車などが減少した。一方、輸入は医薬品などが減少したものの、たばこ、無機化合物などが増加した。

輸出は4,795億円(前年同月比0.1%減)と2か月連続して減少した。

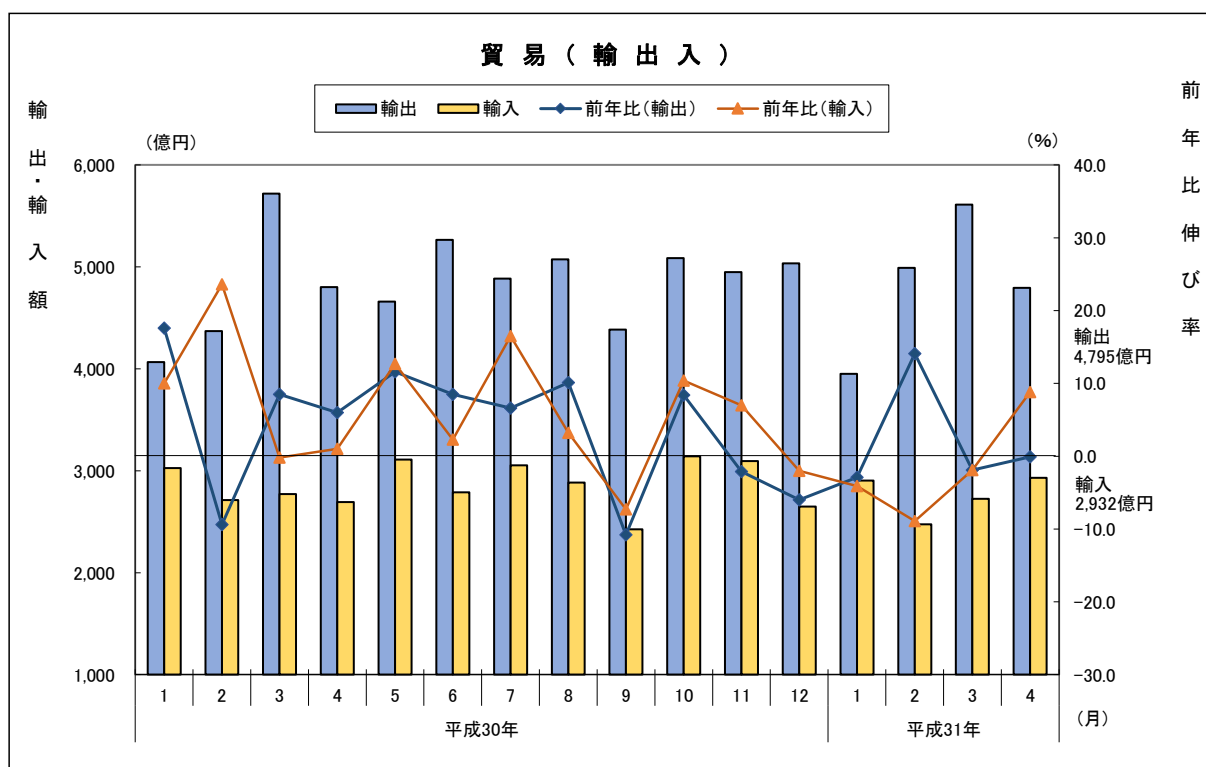
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比4.2%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、プラスチック(同1.6%減、2か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同3.2%減、4か月ぶりにマイナス)、原動機(同13.9%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比12.9%増、4か月連続プラス)、EU(同1.8%増、2か月連続プラス)、中国(同1.6%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、アジア(同2.8%減、2か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,932億円(前年同月比8.8%増)と5か月ぶりに増加した。

主要品目では、たばこ(前年同月比47.0%増、5か月ぶりにプラス)、衣類及び同附属品(同5.1%増、2か月連続プラス)が増加したが、有機化合物(同3.6%減、4か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同25.8%減、6か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、アジア(前年同月比11.3%増、2か月連続プラス)、中国(同11.2%増、2か月連続プラス)、米国(同2.2%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、EU(同1.0%減、5か月連続マイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が101.3(2015年=100)となり、前月比は0.1%の増加、前年同月比は0.5%の増加となった。生鮮食品を除く総合指数は101.5となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.8%の増加となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.7となり、前月比は0.2%の増加、前年同月比は0.7%の増加となった。

前月からの動きを見ると、果物などの減少により「食料」が0.8%、ガス代などの減少により「光熱・水道」が0.4%、交通などの減少により「交通・通信」が0.2%、医薬品・健康保持用摂取品の減少により「保健医療」が0.2%減少した。

一方、教養娯楽サービスなどの増加により「教養娯楽」が2.2%、シャツ・セーター・下着類などの増加により「被服及び履物」が2.4%、家事用耐久財などの増加により「家具・家事用品」が2.6%、設備修繕・維持などの増加により「住居」が0.1%、授業料等などの増加により「教育」が0.6%、身の回り用品などの増加により「諸雑費」が0.3%増加した結果、総合指数では0.1%の増加となった。

### ○対前月比値上がりした主な品目

教養娯楽サービス (2.3%)・・・ゴルフプレー料金、宿泊料

シャツ・セーター・下着類 (7.6%)・・・婦人用セーター(長袖)、男子用セーター

### ○対前月比値下がりした主な品目

果物 (▲5.1%)・・・いちご

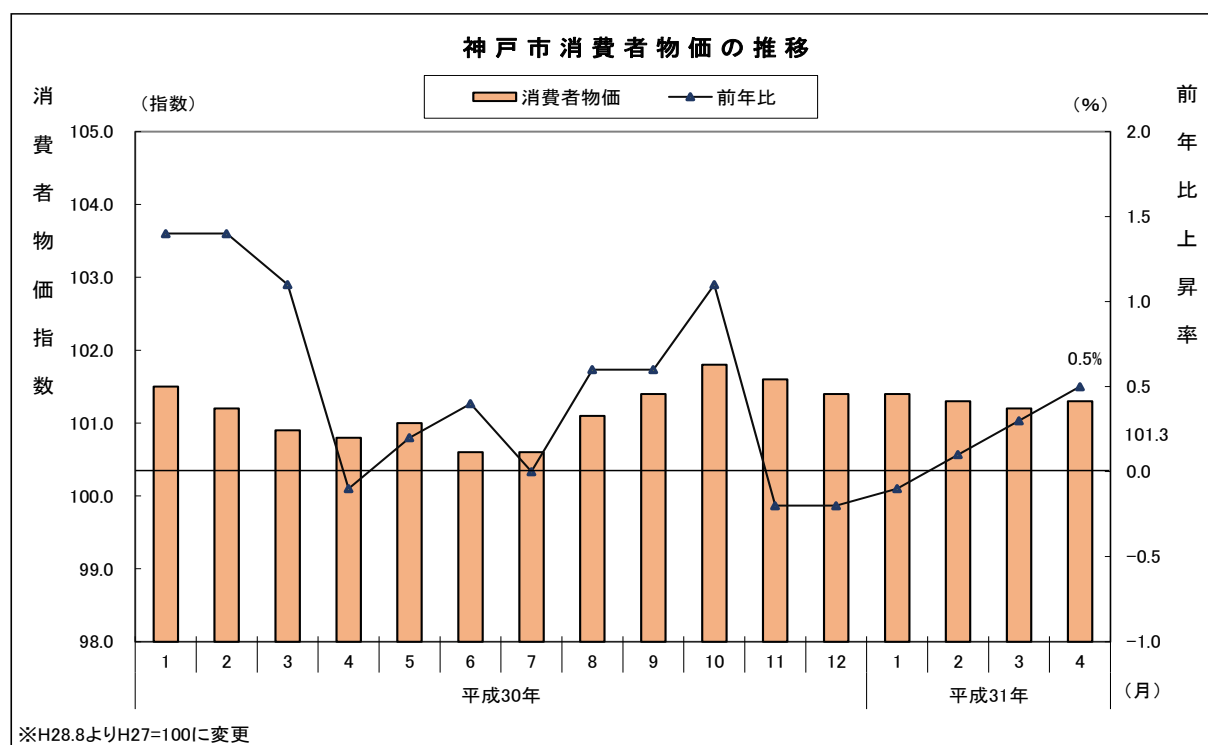
ガス代 (▲0.9%)・・・都市ガス代

### 4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合
指数	101.3	102.3	100.7	97.9	100.9	102.6	103.4	98.8	104.0	102.2	103.5	101.5	101.7
前月比	0.1	▲0.8	0.1	▲0.4	2.6	2.4	▲0.2	▲0.2	0.6	2.2	0.3	0.2	0.2
前年同月比	0.5	▲0.5	0.4	2.8	4.0	1.2	0.7	▲0.4	0.8	1.6	0.9	0.8	0.7

(注)2015年=100

資料：兵庫県統計課



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月16日に発表した、企業物価指数(速報)による2019年4月の企業物価指数は次のとおり。

4月の企業物価指数 (速報、2015年=100)

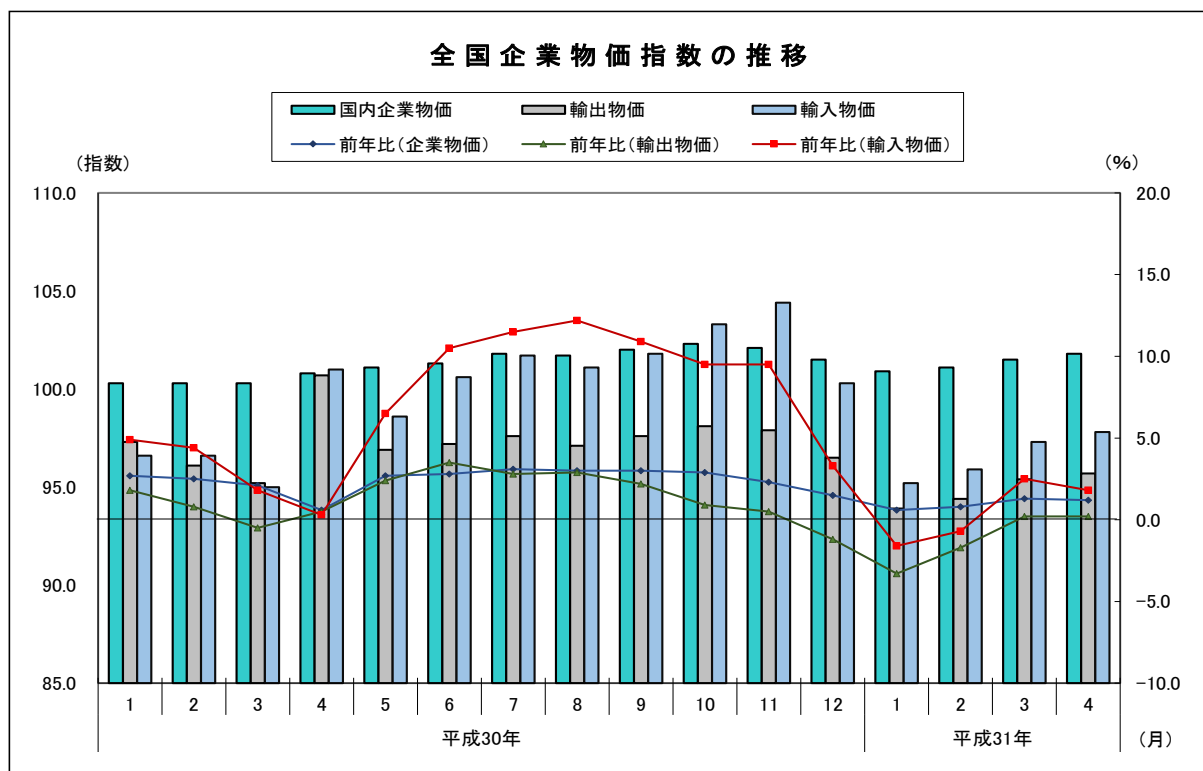
	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.8	0.3	1.2
輸 出 物 価	95.7	0.4	0.2
輸 入 物 価	97.8	0.5	1.8

資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比0.6%減く業務用高圧電力など）、スクラップ類（同4.1%減く鉄くず）等が減少したが、パルプ・紙・同製品（同0.4%増く封筒など）、化学製品（同0.6%増く触媒など）、石油・石炭製品（同3.3%増くガソリンなど）、プラスチック製品（同0.4%増くプラスチック製容器など）、はん用機器（同0.4%増くバルブなど）、生産用機器（同0.4%増く金型・同部品など）、電気機器（同0.3%増くルームエアコンなど）、農林水産物（同1.0%増く豚肉など）等が増加し、円ベースでは前月比0.3%の増加（前年同月比1.2%増）となった。

輸出物価は、電気・電子機器（前月比0.2%減くモス型メモリ集積回路など）が減少したが、繊維品（同1.6%増く不織布など）、化学製品（同0.1%増くエチレンなど）、金属・同製品（同0.6%増く銅地金など）、はん用・生産用・業務用機器（同0.4%増く機械工具など）、輸送用機器（同0.3%増く普通乗用車など）、その他産品・製品（同1.1%増く軽油など）等が増加し、円ベースでは前月比0.4%の増加（前年同月比0.2%増）となった。

輸入物価は、飲食料品・食料用農水産物（前月比0.4%増く牛肉など）、金属・同製品（同1.2%増く銅鉱など）、石油・石炭・天然ガス（同0.5%増く原油など）、はん用・生産用・業務用機器（同0.4%増く医療用機器など）、電気・電子機器（同0.6%増くディスプレイデバイスなど）、その他産品・製品（同0.5%増く天然ゴムなど）等が増加し、円ベースでは前月比0.5%の増加（前年同月比1.8%増）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、32,811人(前年同月比6.2%減)で、3か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求人数(全数)は107,885人(同0.3%減)で107か月ぶりに前年を下回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比6.2%減で3か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同5.9%減で3か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同8.7%減で3か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業(前年同月比15.4%増)、医療、福祉(同1.3%増)は増加したが、建設業(同2.3%減)、製造業(同5.1%減)、運輸業、郵便業(同19.6%減)、卸売業、小売業(同12.4%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同9.9%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同33.3%減)、サービス業(同14.9%減)は減少した。

### (2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は16,725件(前年同月比9.5%減)で5か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、70,806人(同4.7%減)で106か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比12.5%減で5か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.2%減で5か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比31.0%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比17.0%減で18か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同20.6%減で2か月連続して前年を下回った。自己都合離職者は同6.2%減で6か月ぶりに前年を下回った。自営・他は同28.4%増で2か月ぶりに前年を下回った。無業者は同10.3%減で87か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、16,319人(前年同月比1.1%増)で8か月連続して前年を上回った。

### (3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が2.17倍(前月比0.07%減)で前月を下回り、有効求人倍率が1.46倍で前月を0.01%上回った。

### (4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.5%、完全失業者数(原数値)は174万人(前年同月比1万人増)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は2.8%(前年同月比0.1%増)で、完全失業者数(原数値)は29万人(前年同月比1万人増)であった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉 社	サ ー ビ ス 業
31年3月	32,811	2,323	3,808	280	1,442	3,780	168	754	820	2,758	988	9,477	4,454
前年同月比	▲6.2	▲2.3	▲5.1	▲22.7	▲19.6	▲12.4	▲23.6	9.0	▲9.9	15.4	▲33.3	1.3	▲14.9

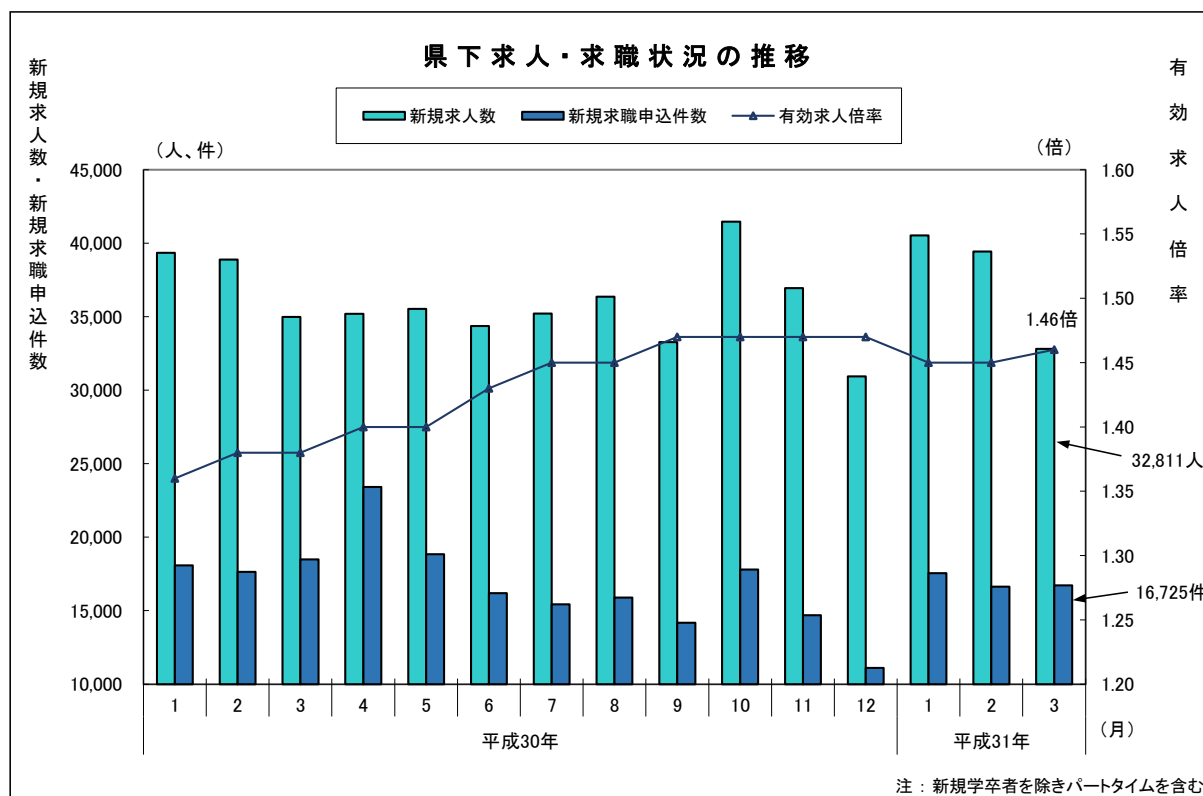
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇用・賃金の推移

項目・年月	18/1-3	18/4-7	18/7-9	18/10-12	19/1	19/2	19/3
有効求人倍率 (季調済、倍)	1.37	1.40	1.46	1.47	1.45	1.45	1.46
新規求人数 (原数値、前年比%)	5.2	5.9	3.8	5.7	3.0	1.4	▲6.2
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	4.7	9.3	8.0	4.9	0.0	▲1.9	▲1.0
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.3	0.5	0.8	0.4	▲0.1	▲0.1	0.0
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	1.2	2.3	1.6	2.0	3.7	1.7	1.9

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部





## 【信用保証】

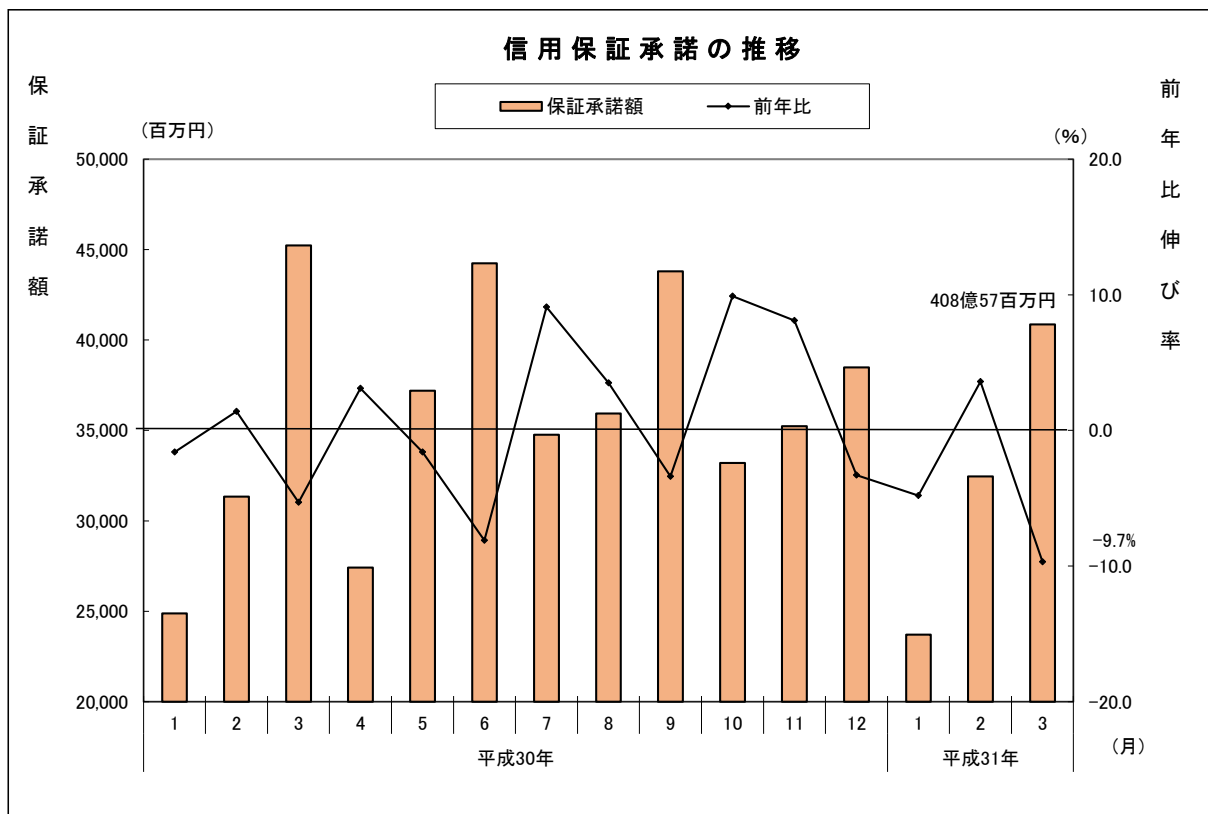
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾は、件数で2,425件(前年同月比5.1%減)、金額は408億57百万円(同9.7%減)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

資金使途別では、運転資金37,977百万円(前年同月比10.7%減)、設備資金1,127百万円(同16.7%増)となり、前年同月と比べ、運転資金は下回り、設備資金ともに上回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」2,085百万円(前年同月比50.6%増)、「卸売業」7,374百万円(同15.6%増)で前年同月を上回り、「製造業」7,460百万円(同0.3%減)、「サービス業」5,545百万円(同11.0%減)、「建設業」10,608百万円(同15.6%減)、「小売業」4,165百万円(同30.0%減)、「運送・倉庫業」1,996百万円(同35.5%減)、「飲食店」1,057百万円(同39.1%減)等で前年同月を下回った。

3月末の保証債務残高は、91,484件(前年同月比1.3%減)、1兆962億70百万円(同0.0%)となった。

一方、同月の代位弁済は、180件(前年同月比63.6%増)、23億69百万円(同70.9%増)となった。



## 【金 融】

3月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

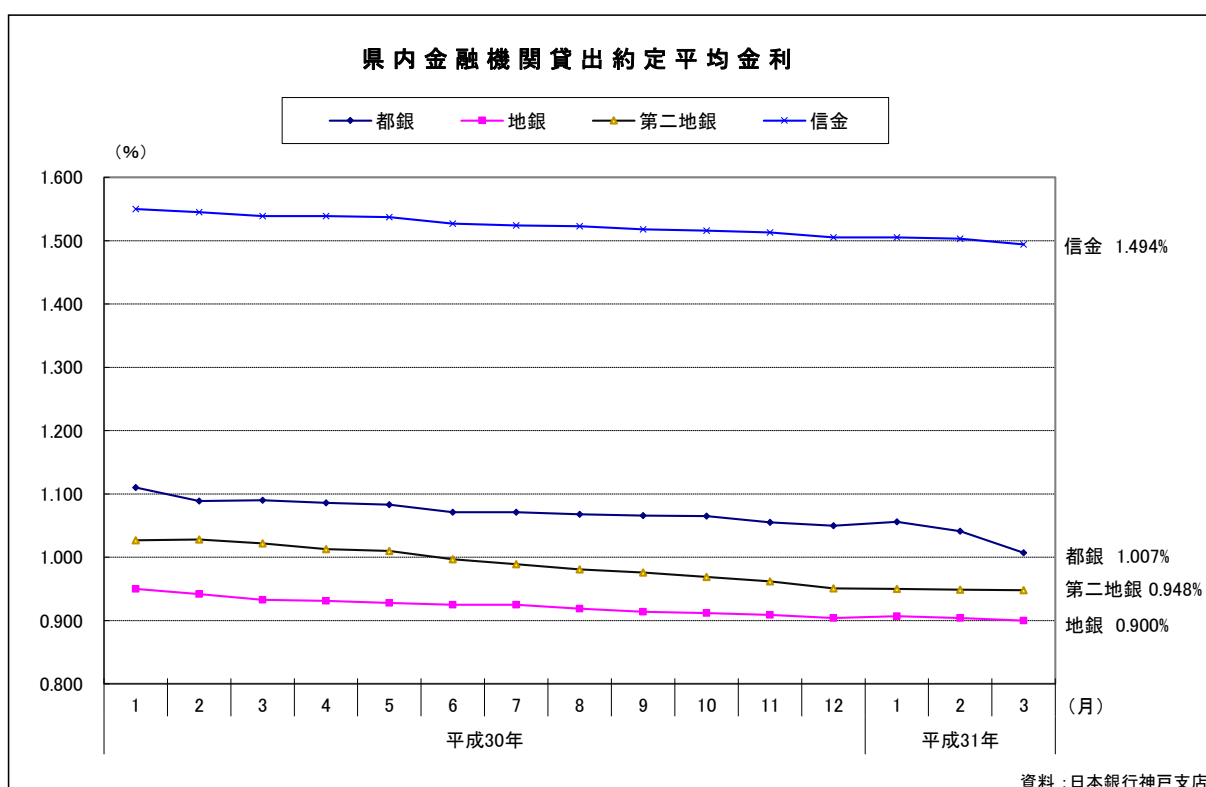
	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	172,125	2.3	54,075	▲ 1.6
地 方 銀 行	29,000	1.2	29,991	3.8
第 二 地 方 銀 行	35,741	1.9	24,473	4.5
信 用 金 庫	NA	NA	NA	NA
そ の 他	NA	NA	NA	NA
計	NA	NA	NA	NA

- ・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。
- ・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

3月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比2.0%増<2月>)

3月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比0.6%増<2月>)

3月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(水準1.142%、前月比マイナス0.015%ポイント)。



## 【倒 産】

県内3月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店）は37件で前月比10件（21.27%）の減少、前年同月比4件（12.12%）の増加となり、負債総額は58億57百万円で前月比132億79百万円（69.39%）の減少、前年同月比24億円（69.42%）の増加となった。

原因別（件数）では、「販売不振」を中心とした「不況型倒産」が26件（全体の70.3%）であった。

業種別（件数）では、「サービス業他」が16件（前年同月比7件増加）であった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満の倒産が26件発生し、全体の70.2%を占めた。

2019年4月の倒産件数は、4月単月では過去10年間で3番目の少なさであった。また負債総額も、5億円以上の大口倒産が3件発生したが、過去10年間で5番目に小さかった。

当月も「小規模な倒産」が主流となり、老舗企業の倒産が高水準で推移している。

4月1日以降、改元に伴う祝福ムードの機運も高まり、G20大阪サミット開催を控え、経済動向への高刺激が期待されたものの、ゴールデンウィーク10連休明けの火曜日アメリカ・ニューヨーク株式市場は貿易をめぐるアメリカと中国の対立が激化したことで、ダウ平均株価は大幅な下げを見せた。もはや貿易摩擦を乗り越えた米中貿易戦争により、外需依存の業界では弱含みの見通しも散見され、既に設備投資の先行指数とされる機械受注は昨年10月以降、中国景気の減速も重なって減少の一途にある。特に中国向けは44.0%減（3月集計分）と大幅なマイナスが続いている。これら製造業の投資失速による景気への影響は大きく、さらに5月以降、油脂製品、ペットボトル製品、カップ麺の食料品以外に、映画鑑賞料等の娯楽部門の値上げも相次ぐ。業種別の倒産状況を見ても、飲食業の倒産件数は前年同月比で増加しており、負債総額でも飲食料品卸売業、同小売業、飲食業ともに前年同月比で増加している状況下で、消費増税を含め、さらなる景気後退が懸念される。企業の賃上交渉も堅調に推移しているなか、消費財の値上げ分を吸収して消費が進むのか、また人件費の増加を企業収益がカバーして、投資に回す資金を捻出できるのか。景気循環の変動局面を迎えようとしており、倒産動向が注視される。

### 4月の原因別・業種別の倒産件数（負債総額1,000万円以上）

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	4	▲1	3	0	建設業	6	4	2	3	3
過小資本	1	2	▲1	0	1	製造業	5	6	▲1	4	1
連鎖倒産	2	3	▲1	5	▲3	卸売業	5	8	▲3	6	▲1
赤字累積	3	6	▲3	1	2	小売業	4	9	▲5	9	▲5
販売不振	23	31	▲8	24	▲1	情報通信業	0	2	▲2	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	16	12	4	9	7
その他	5	1	4	0	5	不動産・運輸業他	1	6	▲5	2	▲1
合計	37	47	▲10	33	4	合計	37	47	▲10	33	4

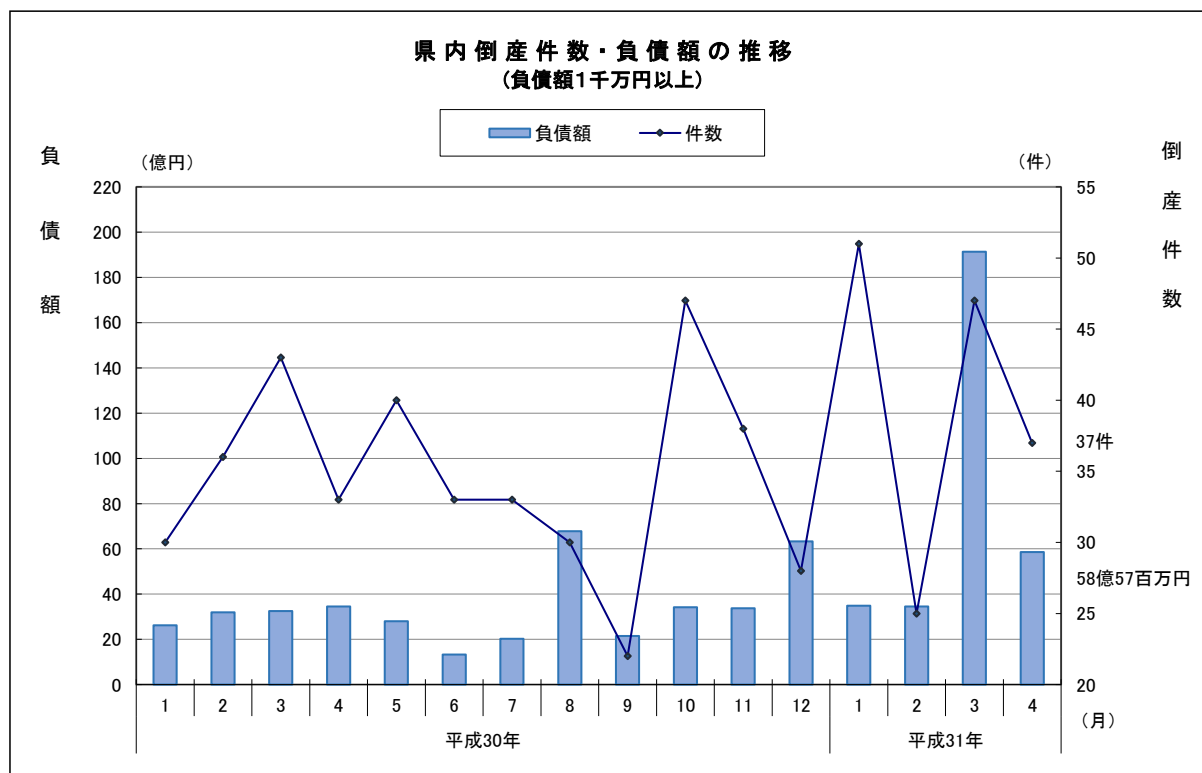
資料：東京商工リサーチ神戸支店

### 県下企業倒産件数地区別内訳（負債総額1,000万円以上）

（単位：件数）

年月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
25年 平均	44.7	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 平均	43.1	15.3	12.1	6.8	4.8	1.5	0.4	1.4
27年 平均	41.6	15.1	11.9	6.6	4.9	1.0	0.4	1.5
28年 平均	36.1	12.8	12	4.5	4.9	0.8	0.5	0.5
29年 平均	39.9	13.5	11.4	5.3	4.3	1.3	0.5	1.0
30年 1月	30	12	4	6	5	2	0	1
30年 2月	36	18	6	5	5	2	0	0
30年 3月	43	15	16	5	5	1	0	1
30年 4月	33	11	8	7	7	0	0	0
30年 5月	40	17	12	9	2	0	0	0
30年 6月	33	13	6	4	3	3	2	2
30年 7月	33	10	12	6	4	0	0	1
30年 8月	30	11	15	1	2	0	1	0
30年 9月	22	9	7	0	3	1	2	0
30年 10月	47	19	13	7	3	3	0	2
30年 11月	38	21	8	6	1	2	0	0
30年 12月	28	9	4	3	9	0	2	1
31年 1月	51	15	20	8	5	2	0	1
31年 2月	25	9	8	3	4	1	0	0
31年 3月	47	14	23	6	2	1	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				百貨店売上高			乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)		
	兵庫県 (2010年=100)		全国 (2010年=100)		兵庫県(平成29年3月まで) 神戸市(平成29年4月から)		全国 (既存店)	兵庫県		全国
	指数	前月比 (%)	指数	前月比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	台数 (台)	前年比 (%)	前年比 (%)
H30年 1月	97.4	△ 2.2	99.3	△ 6.8	132.0	△ 2.2	△ 0.1	13,913	0.7	△ 1.1
2月	100.7	3.4	102.1	0.0	105.5	△ 4.3	0.3	16,965	△ 0.6	△ 2.8
3月	104.0	△ 1.6	104.1	1.4	129.3	△ 1.1	0.9	22,808	△ 1.0	△ 3.6
4月	102.6	△ 1.5	104.6	0.5	112.4	△ 4.2	1.5	12,334	5.5	2.6
5月	100.4	△ 2.6	104.4	△ 0.2	108.3	△ 8.0	△ 1.2	12,780	1.0	△ 1.5
6月	100.9	0.0	102.5	△ 1.8	113.5	△ 5.1	4.0	14,570	△ 4.6	△ 5.3
7月	97.3	△ 4.0	102.3	△ 0.2	124.5	△ 14.0	△ 5.1	14,531	5.5	3.3
8月	101.4	3.5	102.5	0.2	106.7	△ 5.3	0.6	11,665	2.6	4.0
9月	96.7	△ 4.9	102.9	△ 0.4	98.7	△ 7.7	△ 2.6	16,654	△ 0.8	△ 3.3
10月	106.1	9.5	105.9	2.9	117.6	1.1	1.1	14,216	14.5	11.6
11月	102.6	△ 3.4	104.7	△ 1.1	123.2	△ 5.2	△ 1.1	14,397	8.7	7.4
12月	103.0	△ 0.3	104.7	△ 0.1	180.8	△ 4.2	△ 1.3	13,551	△ 2.3	△ 3.2
H31年 1月	97.2	△ 5.4	101.1	△ 3.4	121.6	△ 7.9	△ 3.3	14,472	4.0	0.9
2月	105.1	3.4	102.5	1.4	102.7	△ 2.7	△ 0.1	16,668	△ 1.8	△ 0.1
3月	102.5	△ 2.5	101.9	△ 0.9	122.3	△ 5.4	△ 0.2	20,842	△ 8.6	△ 5.3
4月								12,980	5.2	3.3
R元年 5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		日本百貨店協会		近畿経済産業局	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会		

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	新設住宅着工戸数			公共工事請負金額			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国	輸出		輸入	
	戸数 (戸)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
H30年 1月	2,052	△ 37.8	△ 13.2	170	1.2	△ 12.8	4,067	17.6	3,026	10.0
2月	2,629	△ 17.6	△ 2.6	128	△ 15.3	△ 20.2	4,370	△ 9.4	2,713	23.6
3月	2,750	14.4	△ 8.3	298	1.5	△ 14.5	5,720	8.5	2,772	△ 0.2
4月	2,545	△ 14.5	0.3	418	△ 7.6	5.5	4,801	6.0	2,694	1.0
5月	2,440	△ 19.4	1.3	269	△ 3.1	3.5	4,660	11.6	3,109	12.7
6月	2,791	△ 2.0	△ 7.1	334	29.6	△ 5.6	5,266	8.5	2,788	2.3
7月	2,900	△ 0.6	△ 0.7	254	10.8	△ 2.9	4,886	6.6	3,053	16.5
8月	2,506	△ 16.9	0.3	202	△ 0.7	△ 2.2	5,074	10.1	2,884	3.2
9月	2,240	△ 16.9	△ 1.5	287	△ 27.0	△ 7.6	4,386	△ 10.8	2,425	△ 7.3
10月	2,735	△ 1.3	0.3	308	△ 3.2	9.5	5,086	8.4	3,143	10.4
11月	2,822	2.0	△ 0.6	255	62.8	△ 5.2	4,950	△ 2.1	3,096	7.0
12月	2,835	△ 5.3	2.1	221	17.2	4.6	5,034	△ 6.0	2,648	△ 2.0
H31年 1月	2,364	15.2	1.1	172	0.9	△ 4.1	3,951	△ 2.9	2,903	△ 4.1
2月	2,929	11.4	4.2	202	57.3	20.4	4,990	14.1	2,474	△ 8.9
3月	2,667	△ 3.0	8.9	235	△ 21.1	3.7	5,612	△ 1.9	2,724	△ 1.9
4月				542	29.9	2.5	4,795	△ 0.1	2,932	8.8
R元年 5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県住宅地課		国土交通省	西日本建設業保証(株) 兵庫支店			神戸税関			

項目 年月	消費者物価指数 (H28.7より2015年=100)				有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)	
	神戸市		全国		兵庫県 (季調値)	全国 (季調値)	全産業 (千人)	前年比 (%)	指数 (22年=100)	前年比 (%)
	指数	前年比 (%)	指数	前年比 (%)						
H30年 1月	101.5	1.4	101.3	1.4	1.36	1.59	1,066	△ 0.7	104.7	3.4
2月	101.2	1.4	101.3	1.5	1.38	1.58	1,068	△ 0.1	105.0	4.2
3月	100.9	1.1	101.0	1.1	1.38	1.59	1,065	0.2	105.9	3.1
4月	100.8	0.6	100.9	0.6	1.38	1.59	1,075	△ 0.3	108.0	4.0
5月	101.0	0.2	101.0	0.7	1.39	1.60	1,080	0.1	107.1	5.0
6月	100.6	0.4	100.9	0.7	1.43	1.62	1,080	0.2	107.8	5.4
7月	100.6	0.2	101.0	0.9	1.45	1.63	1,077	△ 0.3	106.7	5.0
8月	101.1	0.6	101.6	1.3	1.46	1.63	1,075	△ 0.3	106.8	5.0
9月	101.4	0.6	101.7	1.2	1.49	1.64	1,072	△ 0.1	107.5	4.5
10月	101.8	1.1	101.8	0.8	1.48	1.62	1,072	△ 0.3	108.0	4.5
11月	101.6	△ 0.2	101.5	0.3	1.47	1.63	1,074	△ 0.2	107.2	4.2
12月	101.4	△ 0.2	101.5	0.2	1.47	1.63	1,075	0.4	107.8	4.4
H31年 1月	101.4	△ 0.1	101.5	0.2	1.45	1.63	1,065	△ 0.2	107.5	2.7
2月	101.3	0.1	101.5	0.5	1.45	1.63	1,063	△ 0.5	105.3	0.3
3月	101.2	0.3	101.8	0.9	1.46	1.63	1,059	△ 0.7	107.3	1.3
4月	101.3	0.5								
R元年 5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		総務省		兵庫労働局		兵庫県統計課			

項目 年月	国内企業物価指数 (H29.1より2015年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末) (億円)	前年比 (%)	全国銀行 (年%)	倒産件数 (件)	負債総額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 (%)						神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
H30年 1月	100.3	2.7	161,275	2.0	0.943	30	26	12	4	14
2月	100.3	2.5	161,910	2.0	0.940	36	31	18	6	12
3月	101.3	1.5	165,094	1.3	0.932	43	32	15	16	12
4月	100.4	2.0	162,625	1.6	0.929	33	34	11	8	14
5月	101.1	2.7	161,836	1.0	0.927	40	28	17	12	11
6月	101.3	2.8	162,911	1.8	0.921	33	13	13	6	14
7月	101.8	3.1	162,277	1.4	0.918	33	20	10	12	11
8月	101.7	3.0	162,402	1.5	0.917	30	67	11	15	4
9月	102.0	3.0	163,555	1.2	0.912	22	21	9	7	6
10月	102.3	2.9	162,278	1.2	0.912	47	34	19	13	15
11月	102.1	2.3	162,909	1.2	0.909	38	33	21	8	9
12月	101.5	1.5	164,383	1.3	0.901	28	63	9	4	15
H31年 1月	100.9	0.6	162,895	1.0	0.900	51	34	15	20	16
2月	101.1	0.8	162,899	0.6	0.898	25	34	9	8	8
3月	101.5	1.3			0.891	47	191	14	23	10
4月	101.8	1.2				37	58	10	14	13
R元年 5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値